

授業の視点

既習事項や調べた内容を劇に表現する活動を行い、歴史的事象の理解に必要な知識を習得できるようにするとともに、当時の人々の考えや気持ちを理解できるように工夫した授業

第2学年*組 社会科学習指導案

指導者 寺内 明
場所 2年*組教室

1 単元名 欧米の進出と日本の開国

2 目標

- (1) 欧米諸国の近代革命や産業革命が、その後のアジア諸国へ大きな影響があったことを意欲的に追究しようとする。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 欧米諸国のアジア侵略や日本の開国とその後の幕府政治について、その理由や背景・影響等を考察することができる。 (社会的な思考・判断)
- (3) 欧米諸国のアジア侵略や日本の開国とその後の幕府政治について、追究したり考察したりした結果を、目的に応じた方法で表現することができる。 (資料活用の技能・表現)
- (4) 開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連付けて理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)

3 単元の評価規準

- (1) 社会的事象への関心・意欲・態度
欧米諸国の近代化や日本の開国とその後の幕府政治について意欲的に調べたり、分かったことや考えた内容を表現したりしようとしている。
- (2) 社会的な思考・判断
近代革命や産業革命を経て、経済の仕組みや社会が大きく変化したことを考察している。欧米諸国や日本の発展に尽くした歴史上の人物の活躍と現在の私たちの生活を関連付けて考えている。
- (3) 資料活用の技能・表現
欧米諸国のアジア侵略や日本の開国の様子を追究し、考察した過程や結果をまとめている。
- (4) 社会的事象についての知識・理解
日本の近代化の過程を、欧米諸国の動きとの関わりの中で理解している。

4 指導について

(1) 教材観

学習指導要領において、歴史的分野2内容(5)には、「欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。」とある。このことから、本単元では、「近代日本が形成していく過程を、欧米諸国の動きと関連付けながら理解させる。」ことをねらいとしている。

質問1 自分ができると思う活動について(人)

	できる	普通	できない
学習課題をつくる	23	8	3
見学や校外活動を行う	27	6	1
資料をもとに調べる	26	6	2
調べたことをまとめる	28	2	4
自分の考えを表現する	5	17	12
友達と話し合う	16	14	4
先生の話聞く	25	5	4

(2) 生徒の意識【2年*組意識調査】

意識調査の結果をみると、生徒は、自分の力で調べたり、調べたことをまとめたりすることはできるが、調べたことを活用し、表現することに苦手意識をもっていると考えられる。

次に、「自分の考えをきちんと表現するため」には、「十分に調べること」、「調べたことがよく分かること」が必要であると考えていることが分かった。このことから、生徒が納得できるような調べ活動を行い、調べた内容を活用し、自分の考えをきちんともつことができれば、生徒は自信をもってまとめたり表現したりすることができると思われる。

質問2 自分の考えをきちんと表現するためには、どんなことが必要ですか。(複数回答)(人)

課題がよく分かること。	17
先生が助言してくれること。	21
十分に調べること。	31
資料を的確に読み取ること。	22
調べたことがよく分かること。	33
友達と話し合いながら考えをまとめていくこと。	18
まとめる時間が多いこと。	23
表現の仕方が分かること。	32

(3) 指導観(研究テーマとの関連)

調べる段階では、年表や文章資料等を効果的に活用し、事象の歴史的背景や経過、結果等の事実をとらえるだけでなく、当時の人々の心情や願いを考えさせたい。そして、その事象の歴史的意味について考えさせたい。次に、自分の考えを表現する方法として、当時の人々になりきって劇をつくり、当時の人々が、何を考え、どのように行動したか、その願いや心情への理解を深めさせたい。これらのことから、当時の人々の行動や考えをもとに、その歴史的意味や人々の心情や願いについて考えさせ、本単元のねらいに迫っていきたいと考える。

5 学習計画・評価計画(本時は10時間扱いの第9時)

時間	学習内容	評価の観点				評価方法
		(1)	(2)	(3)	(4)	
1	学習課題をつくろう。					ノート
2~6	課題にそって追究しよう。					ノート
7~9	追究結果をもとに「劇」をつくろう。					ワークシート 台本シート
10	学習のまとめをしよう。					ノート

6 本時の学習

- (1) 目標 欧米諸国や日本の近代化の時期に活躍した人物の心情や願いを考え、劇に表すことができる。
- (2) 準備・資料 台本シート、ワークシート(場面ごとの振り返り)
- (3) 本時の展開

学習活動・内容	学習形態	指導上の留意点 (評価 テーマに対する支援)
1 単元の学習課題を確認する。 日本は本当に近代化の道を進んでいるのだろうか。	一斉	・ 単元の学習課題を確認し、「日本はどのように変わったか」、「日本と外国の関係はどのように変わったか」等について、常に意識して活動できるようにする。
2 本時の学習課題を確認する。 日本が開国した頃の様子を劇に表してみよう。	一斉	・ 条約改正までに人々の気持ちにどのような動きがあったかを考え、それをせりふにして劇に表すことを確認する。当時の人々の立場に立ってせりふを考えていくことで、それぞれの気持ちの動きを考えさせたい。
3 当時の人々の立場に立ち、調べたことを劇の中で発表する。 (1) グループごとに表す場面を確認する。 近代革命 産業革命 欧米諸国のアジア侵略 日本の開国と不平等条約 江戸幕府の滅亡	一斉 グループ	・ 前時までの学習において、日本の開国までの大まかな流れを調べておく。そして、当時の日本や日本と外国の関係について把握した上で調べ学習を進めさせ、人々の気持ちに近づけるようにする。 ・ 劇の作成までに、「場面の設定 登場人物の確認 台本の作成 グループごとの練習」を行い、生徒が自信をもって発表できるようにする。
(2) 発表する。	一斉	・ 台本シートを作成し、台本作りを支援する。
(3) 劇を見て感じたことや考えたことを書く。	個人	・ 劇を見て、感じたことや考えたことをメモできるワークシートを作成し、活用する。
4 次時の学習内容を確認する。	一斉	・ 当時の人々の気持ちや考えをせりふに表している。(技・表 台本シート・ワークシート)
(1) 本時の自己評価をする。	個人	・ 当時の人々の活躍が、現在の私たちの生活に大きな影響を与えていることに気付いている。
(2) 次時の学習内容を確認する。	一斉	(思・判 ジャーナル)

第2学年 社会科

「欧米の進出と日本の開国」

単元の課題

日本は本当に近代化の道を進んでいるのだろうか。

今日の課題

日本が開国した頃の様子を劇に表してみよう。

2年 組 番 名前

社会科ワークシート

2年 組 番 名前

課 題

日本は本当に近代化の道を進んでいるのだろうか。

方 法

日本が開国した頃の様子を劇に表してみよう

	場 面	劇の中で気付いたこと(せりふ・動作など)	思ったこと・考えたこと
1			
2			
3			
4			
5			

自 分 の 考 え	今日の活動をふり返って(自分のがんばり・劇に表すこと)
	日本人の働きについて(思ったこと・考えたこと)
	日本の開国について(思ったこと・考えたこと)

社会科 学習計画 自己評価表

単元名 『欧米の進出と日本の開国』

2年 組 番 名前

単元の課題

日本は本当に近代化の道を進んでいるのだろうか。

< 評価項目 >

- 1 : 意欲的に活動しましたか。
- 2 : 自分の考えを深めることができましたか。
- 3 : 工夫して表現しましたか。
ノートや新聞, ワークシートに表す。
表や図, グラフを活用する。
劇を見たり, 劇で表したりする。
- 4 : 日本や日本と外国との関係が分かる。

< 評価の表し方 >

- A : よくできた。
- B : がんばった。
- C : どちらとも言えない。
- D : もう少し。
- E : 次はもっとがんばろう。

時	月	日	学習内容	学習課題	活動をふり返って 〔がんばったこと・工夫したこと〕 〔次にがんばりたいこと〕	評価するもの	評価項目			
							1	2	3	4
			学習計画を立てる。			学習計画表				
			近代革命について考える。			ノート グループ活動				
			産業革命について考える。			ノート グループ活動				
			欧米諸国のアジア侵略について考える。			ノート グループ活動				
			不平等条約について考える。			ノート グループ活動				
			江戸幕府の滅亡について考える。			ノート グループ活動				
			劇の準備 (1)			台本シート				
			劇の準備 (2)			台本シート				
			劇の発表会			ワークシート				
			まとめ			ノート 自己評価表				

単元全体を振り返って